

平成22年2月宮崎県定例県議会
行政改革特別委員会会議録

平成22年3月15日

場 所 第3委員会室

平成22年 3月15日（月曜日）

午前10時0分開会

会議に付した案件

○協議事項

1. 委員会報告書について
 2. 委員長報告（案）について
 3. その他
-

出席委員（13人）

委 員 長	丸 山 裕次郎
副 委 員 長	武 井 俊 輔
委 員	緒 嶋 雅 晃
委 員	福 田 作 弥
委 員	星 原 透
委 員	十 屋 幸 平
委 員	河 野 安 幸
委 員	山 下 博 三
委 員	鳥 飼 謙 二
委 員	高 橋 透
委 員	河 野 哲 也
委 員	井 上 紀代子
委 員	徳 重 忠 夫

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

事務局職員出席者

政策調査課主査	松 下 新 一
政策調査課副主幹	福 島 久 大

○丸山委員長 ただいまから行財政改革特別委員会を開会いたします。

まず、本日の委員会の日程についてですが、お手元に配付の日程案のとおり、取り進

めてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○丸山委員長 それでは、そのように決定いたします。

まず、委員協議に入る前に私のほうから、「宮崎県の出資法人等への関与事項を定める条例（案）」に関して、一点御報告させていただきます。

前回の当委員会で決定した条例案について、去る3月8日に開催された「政策条例検討会議」において、私のほうから報告を行いました。

政策条例検討会議においては、全会一致で、当委員会からの発議による条例案の本会議への提出が決定されたところであります。

これを受け、3月12日に当委員会から議長あてに条例案の提出を行ったところでありますので、御報告させていただきます。

それでは、協議事項（1）の特別委員会報告書についてであります。

報告書につきましては、正副委員長のほうで作成した原案について、事前に委員の皆様のお了承をいただいていたところでありますが、その報告書をもって、議長への報告としたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○丸山委員長 なお、報告書につきましては、定例会最終日であります17日（水）に、他の特別委員会の分と合冊して、議場に配付しますので、御了承いただきたいと思っております。

次に、閉会日の本会議で行います委員長報告についてであります。

別紙の委員長報告（案）を御覧ください。

委員会報告書を要約した形で、作成しておりますので、ごらんいただきたいと思っております。

数分、時間をとりますので、お読みください。

それでは、委員長報告案について、何か御意見等はございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○丸山委員長 それでは、この案のとおり報告を行うこととしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○丸山委員長 それでは、そのように決定いたします。

最後に「その他」でございますが、委員の皆様から何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○丸山委員長 それでは、ないようですので、これで当委員会の全ての議事を終了したいと思います。

最後に、正副委員長のほうから一言ごあいさつを申し上げます。

1年間お世話になりまして、本当にありがとうございました。

行財政改革というのはどこの県にとっても喫緊の課題であろうと思っておりますけれども、どうか皆様方の御協力のおかげで条例案のほうも最終日に上程されることとなりました。本当にありがとうございました。

議会としてはチェック機能の強化ということで、大きな条例になるのではないかと考えておりますので、今後とも皆様方の御協力をお願い申し上げます。委員長としてのあいさつとさせていただきます。

本当にありがとうございました。（拍手）

○武井副委員長 本当につたないところございまして、本当に丸山委員長をしっかり支え切れたのかどうか申し訳なく思うところもございますが、こういう形で一つ一つ進んでいくこと

で、これがまた来年度に執行部の皆さんの刺激になって、新しい扉を開くことができれば非常に意義があるのではないかと考えております。

1年間まことにお世話になりました。（拍手）

○丸山委員長 それでは、以上をもちまして、行財政改革特別委員会を終了いたします。

1年間、お疲れさまでした。

午前10時4分閉会